

2020年度臨海実習 新型コロナウイルス拡散防止対策

以下の感染防止対策を行ってください。

8月21日（金）～22日（土）SSH事業として実施します。

本年度は例年二泊三日を一泊二日とし、人数制限するため、SSH主対象の生物班の生徒でのみ行う。

現在、県立いえしま自然体験センターでは宿泊棟数を制限して運営しています（県立いえしま自然体験センターHPより）

1 各自交通機関を利用し姫路港集合

体調の悪い生徒、前日、当日 37℃を超える発熱や風邪等の症状があるのある生徒は参加しない。すぐに引率教員に連絡する。（島には病院もなく、海に入るフィールドワークなので例年のこと）

公共交通機関を利用する者は必ずマスク着用

2 姫路港←→県立いえしま自然体験センター棧橋

待合室、乗船時はマスクを着用（乗船時間約 30 分）

3 県立いえしま自然体験センター棧橋←→県立いえしま自然体験センター

熱中症対策としてマスクを外して移動（移動時間約 25 分）

県立いえしま自然体験センターではセンターの新型コロナ対策を遵守する

4 県立いえしま自然体験センター実験室内

手指の消毒をアルコールで行い、必ずマスクを着用

5 宿舎 15:00 入室 10:00 退出

定員の半数で利用

クーラーエアコンはないので常時窓を開けて利用する

就寝時以外 宿舎内、実験室、食堂との往来では必ずマスク着用

10人用コテージ 男子5人

10人用コテージ 女子4人 教員1人

6人用コテージ 男子1人 教員2人

夜中はウニの発生実験の観察を継続する。実験室に2時間ずつ2名～3名が観察を交代で継続し、教員も交代で指導に当たる

6 食事

到着後の昼食は手指の消毒後屋外で行う。

21日夕食・22日朝食・昼食は広い食堂で行い、対面では食事をしない。

センター食堂の新型コロナ対策（昨年までも手洗い消毒を行っていた）を遵守する。

（これまでも密集するほどの利用者を確認したことはない）

7 入浴

現在センターでは、利用人数を制限しており、浴槽は使用しておらずシャワーのみとなり、時間が延長されている。観察と並行して、順次利用する。

